

人 気カスタムショップ、セレクトッドが提案するロイヤルシリーズは、アメリカ西海岸発祥のニュースクール系ショッパーを源流としつつ、日本人らしい洗練されたスタイリングとハイエンドな作り込み、タウンユースでの走行性能を併せ持ち、国内外から高く評価されている。今回紹介するROYAL SWAGGAは、ベース車両にダイナファミリーを初採用するなど新しい試みにあふれている。

「オーナーの希望は『ロイヤルで制作』ということだけでした。そこで、ダイナのフレームを使って、今までのロイヤルのイメージを変えようと考えました」  
そして、時間をかけてコンセプトを固めていったというセレクトッド東京の鈴木さん。走行性能とルックスの両立を目



18インチPM製レベラプラチナムカットホイールに240mm極太タイヤを装着。ビッグマシン製スイングアームはセレクトッドがデザインし、フレームと同じ幅に

指した。エンジンは街中でも扱いやすいパワーフィールを追求。シャシーは、スポーティなダイナのフレームを生かしながら、リアまわりをワイド化した。特筆すべきは、フレームとスイングアーム、電装系の複雑な位置関係をスマートに見せつつ、メンテナンス性を向上させたバランスよいスタイリング。圧倒的な個性を放ちながらも、スマートなフォルムにまとめている。



1: オリジナルのOWLバーハンドルに、アルミの削り出しのROCKライザー4インチを装着。リボルバーの弾倉を模したヘッドパーツを合わせる 2: ミクニ製HSR42にサイレンカバーをモディファイしてエアクリカバーにしている 3: ペイントはナチュラリーの作品。「ROYAL SWAGGA GRANDLY URBAN STYLE」のレタリングが表すように、快適に街乗りできる走行性能を備える。排気量は1550cc、アンドリュース製TW26カムでパワーアップ。燃焼室で圧縮比を下げ、ストップ&ゴーが多い街乗りに対応



1: 素材の質感を生かしたダイヤモンドステッチ入りのソロシートはSCM製オリジナル 2: ワンオフの2本出しマフラーは、右サイドからエンジンを囲むように左サイドへ取り回し、オープンブライマリーに沿って前方へ向かってレイアウト

**BUILDER**

**鈴木飛雄さん**  
セレクトッド東京のマネージャーを務める鈴木飛雄さん。数々のアワードを受賞したロイヤルクラウンのオーナー兼ビルダー



CUSTOM BIKE  
**ROYAL ORDIN**  
photo/S.Ise 伊勢悟

エンジンはS&Sツインカム、約2000ccを誇る大排気量だが街中でも不自由なく走行できるよう圧縮比を下げる設定がなされている。キャブはS&SスーパーGで、同店オリジナルデザインのファンネルをセットする



既存のハーレーの構造を崩さず、新たなスタイルを生み出すという同店の試みは、すでに完成の領域に達している。この車両も豪華なスタイリングに目が行きがちだが、日常の足として乗れるかどうかの境界線を越えないようにデザインされている。例えばネック下に装着されたガゼットやリアフェンダーの二点留めのステーはどちらも補強のための部品だが、フレームワークの一環としてカスタムパーツらしい造形が与えられている。このように機

能パーツにもドレスアップ効果を持たせる作り込みこそ、同店の真骨頂とも言える。「作り手は乗り手でもあることが大切」とビルダーの鈴木さんが言うように、寝かせすぎないネックや、操作性を損なわないハンドルとステップの位置など、普通に街乗りできることを前提とした機能的なディテールが随所に盛り込まれている。これはまさに、同店が掲げる「日常で走れるショーケースのバイク」というコンセプトを世に提示した一台である。



1: ネック下にはボックス型のガゼットを装着。フレームワークの一環として、デザインにも配慮している 2: オリジナルライザーはヘッドパーツ、ジョイント、カラーがセパレートになっているので高さ調整が容易 3: リアにはブレンボ製4ポットラジアルキャリパーを装備。高い剛性と制動力を発揮し、大排気量のパワーをしっかりと受け止める 4: ワンオフのステップはその角度にもこだわりがあり、バンク角を十分に確保